

6 . 社会的要因と高コレステロール血症の有病、治療との関連： NIPPON DATA2010 より

研究協力者 藤吉 奈央子 (滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 研究生)
研究分担者 有馬 久富 (福岡大学医学部衛生・公衆衛生学教室 教授)
研究協力者 佐藤 敦 (福岡大学医学部衛生・公衆衛生学教室 助教)
研究分担者 尾島 俊之 (浜松医科大学医学部健康社会医学講座 教授)
研究分担者 西 信雄 (医薬基盤・健康・栄養研究所国際栄養情報センター センター長)
研究分担者 奥田 奈賀子 (人間総合科学大学人間科学部健康栄養学科 教授)
研究分担者 門田 文 (滋賀医科大学アジア疫学研究センター 特任准教授)
研究分担者 大久保 孝義 (帝京大学医学部衛生学公衆衛生学講座 教授)
研究分担者 竇澤 篤 (東北大学東北メディカル・メガバンク機構予防医学・疫学部門 教授)
研究協力者 中谷 直樹 (東北大学東北メディカル・メガバンク機構予防医学・疫学部門 准教授)
研究分担者 藤吉 朗 (滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 准教授)
研究分担者 岡村 智教 (慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学 教授)
研究分担者 上島 弘嗣 (滋賀医科大学アジア疫学研究センター 特任教授)
研究分担者 岡山 明 (生活習慣病予防研究センター 代表)
研究代表者 三浦 克之 (滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 教授)

NIPPON DATA2010 研究グループ

【目的】

高コレステロール血症は心血管疾患 (CVD) の主要な危険因子であるが、日本人のコレステロールのレベルは 1960 年代後半から大幅に上昇し、欧米諸国と同レベルに達している。そのため、国内ガイドラインにおいても脂質異常症の適切な管理が心血管疾患予防に重要であることが示されている。その心血管疾患リスク因子の上流に社会的要因が存在することが明らかにされているが、高コレステロール血症との関連について検討した報告はない。そこで、国民の代表集団である NIPPON DATA2010 ベースライン調査の成績を用いた断面研究において、社会的要因と高コレステロール血症の有病、治療との関連を明らかにすることを本研究の目的とした。

【対象と方法】

対象は NIPPON DATA2010 への参加に同意した計 2898 人である。CVD の既往者 198 名と社会的要因の情報が欠損のある者を除外し、男性 999 名(平均年齢 59.1 歳)女性 1418 名(平均年齢 57.2 歳)の合計 2417 名を分析対象とした。社会的要因は、婚姻状況(既婚 / 未婚 : 離婚と死別を含む)、就業の有無、教育歴(高校卒業以下 / 短大以上)、世帯月間等価支出(第 1 五分位 / 第 2 五分位以上)(等価支出 : 世帯支出を世帯人員数の平方根で除したもの)の 4 項目とし、それぞれの項目で

高コレステロール血症の有病、未治療者の割合を男女別に算出した。加えて年齢・糖尿病既往、高血圧既往の有無で調整した有病あるいは未治療のオッズ比をロジスティック回帰分析を用いて算出した。総コレステロール 240mg/dl 以上若しくはコレステロール低下薬服用者を高コレステロール血症の有病とし、高コレステロール血症有病者においてコレステロール低下薬を服用していない者を未治療者と定義した。

【結果】

男性における有病率は 21.5%、そのうち 55.4%が未治療であった。女性ではそれぞれ、31.0%、55.1%であった。ロジスティック回帰分析において、男性における有病オッズ比は世帯等価支出『第 2 五分位以上』を基準とした『第 1 五分位』で 1.66(95%信頼区間：1.16-2.38)と高かった。また未治療オッズ比は『既婚群』を基準とした『未婚群』で 2.53(95%信頼区間：1.05-6.08)と高かった。女性は、有病・未治療ともに、いずれの社会的要因においても有意な関連は認められなかった。高コレステロール血症の定義である総コレステロール 240mg/dl の基準に代えて、LDL コレステロール 160mg/dl、non-HDL コレステロール 190mg/dl を用いて同様の方法で多重ロジスティック回帰分析を行った場合も、男女ともに総コレステロール 240mg/dl を用いた分析と同様の傾向を確認した。

【結論】

わが国の男性において、高コレステロール血症の有病には経済的水準が影響を与えることが示唆された。また未婚男性の未治療リスクが高く、受診勧奨を促す際には婚姻状況を一つの指標として、未婚群をターゲットとした対策が有用である可能性が示唆された。

Journal of Atherosclerosis and Thrombosis. 2018(in press)